

平成27年 第11回 伊丹市教育委員会 定例会 会議録

1. 日 時 平成27年11月26日(木) 午前10時00分～午前11時17分
2. 場 所 総合教育センター 2階 講座室
3. 主 宰 者 教育長 木下 誠
4. 委員の出席 江原 礼子 川畑 徹朗 秋田 久子 川崎 かおり
5. 委員の欠席 なし
6. 傍 聴 人 なし

7. 関係者の出席 教育長 木下 誠 総合教育センター主幹 尾崎 眞弓  
管理部長 谷澤 伸二 保健体育課長 増田 健一  
学校教育部長 太田 洋子 社会教育課長 中畔 明日香  
生涯学習部長 小長谷 正治 スポーツ振興課長 前田 勝弘  
教育長付参事 二宮 毅 公民館長 池田 真美  
教育長付参事 大西 俊己 図書館長 三枝 芳美  
総合教育センター所長 後藤 猛虎 博物館長 亀田 浩  
管理部副参事 升井 竜雄 人権教育担当主幹 森口 真一  
学校教育室長 村上 順一 中学校給食推進班主幹 田中 康之  
人権教育室長 森田 幸輝 少年愛護センター所長 米田 博一  
施設課長 田原 安治 教育総務課長 中井 秀典  
教育企画課長 春名 潤一 教育総務課主査 中村 太郎  
学事課長 大村 寿一 教育総務課 山縣 英美

8. 議事

(1) 開会宣言 木下教育長(午前10時00分)

(2) 日程報告 木下教育長より次のとおり会議を進める旨の発議があり、全委員はこれを了承。

日程第 1 平成27年第10回教育委員会定例会会議録及び第5回教育委員会臨時会会議録の承認

日程第 2 教育長報告

日程第 3 報告第8号の専決第21号の承認

日程第 4 報告第8号の専決第22号の承認

日程第 5 議案第51号の審議

日程第 6 議案第52号の審議

日程第 7 議案第53号の審議

(3) 平成27年第10回教育委員会定例会会議録及び第5回教育委員会臨時会会議録の承認（日程第1）

平成27年第10回伊丹市教育委員会定例会（平成27年10月15日〈木〉開催）の会議録及び平成27年第5回伊丹市教育委員会臨時会（平成27年11月5日〈木〉開催）の会議録については、全委員一致でこれを了承。

(4) 教育長報告（日程第2）

管理部長より「11月分人事報告」・「10月分教育施設関係工事の着工・竣工報告」・「10月分の寄附採納報告」について、学校教育部長より学校教育部の、生涯学習部長より生涯学習部の、教育長付参事より人権教育室の、教育長付参事兼中学校給食推進班長より中学校給食推進班の、「10月分行事実施報告」・「12月分行事実施予定」について、それぞれ説明があり、質疑応答の後、全委員一致で「教育長報告」を承認。

質疑応答

江原委員           5ページ。10月26日に第4回教頭会で教頭先生方が先進校視察に参加し、コミュニティ・スクールについて研修を受けてきた。現場の理解等を進めていくために取組をしているところだが、先だって川畑委員からもコミュニティ・スクールについては、学力の低い学校支援の一つとしても活用できないかという意見が出ていたり、あるいは来年度の市の予算編成の時期でもあるので、教育委員としてコミュニティ・スクールについて課題等について研究を深めたり、この取組がより良い形に動いていくように検証を深める機会が必要ではないかと思うのだが、いかがか。

川畑委員           先進校の情報をいただいて、いいことだとは思っているのだが、恐らく色々な課題もあると思うので、そういう場があるといいなと思う。

木下教育長           伊丹市教育大綱が策定され重点大綱の社会総がかりの教育推進の中で学校運営協議会の設置を謳っている。社会総がかりの教育推進ということで、土曜学習を全小中学校で実施しているが、それをより安定したものにしていくとか、学校支援をより確かなものにしていくとか、学校経営に対して参画していくとか、という意味でコミュニティ・スクールについては検討しなければならないと思う。このことについては、江原委員から提案があったので、事務局から先進的な取組をしている京都や横浜や山口の状

況がどのようになっており、どのようなメリットがあり、どのような課題があるのか、どのぐらいの期間で事業を進めていくのかということをご提案いただき、協議する時間をとりたいと思う。12月3日の協議会の案件に挙げたいと思う。

秋田委員 教頭会の視察の出張報告、そういう出席した方の意見を出していただけたらと思う。

木下教育長 幼稚園、小学校、中学校の教頭と江原委員、前田副主幹が視察に参加した。視察に出席した方の意見もまとめて下さい。

川畑委員 総合教育会議で結局議題にならなかった英語教育だが、小学校で英語が教科化されるということと、英検準1級を取得することは中学校教員には相当高いハードルだが、これに対して採用の段階で考えるべきことと、小中連携で小学校の英語教科化に備えるということが私は気になっている。英語に関する様々な研修が開催されているが、小学校の教員の英語指導力を向上させるための具体的なプランがあれば教えていただきたい。

木下教育長 2020年度から小学校で英語の教科化が始まる。それに向けて先進校視察等、計画的に進めている。また、中学校の英語教諭免許を持った者が30人勤務し、その者は小学校免許を持っているので、現在は学級担任でやってもらっている。2018年度から先行実施されるので、具体的に取組んでいかなければいけない。英語教育の充実が伊丹市教育大綱の3番目の柱「伊丹ならではの教育」に謳っているのでぜひ取組んでいきたい。

川畑委員 目標を達成するためにどのようにアプローチしていくかが思い描ければいいと思う。教員の指導力向上と中学校の場合は準1級を取得している方の数を目標の50%までどのように増やしていくのか、一度にたくさん採用できるわけではないので。

木下教育長 2017年度までに50%が目標。高等学校は11人中9人で81%が取得している。中学校の取得率はもっと低い。

- 川畑委員 現職の教員が準1級を取得することでどの程度解決できて、新規で準1級を持っている方を採用することでどのぐらいの数が増えていくかという全体の見通しを教えてください。
- 太田部長 準1級取得を視野に入れた来年度予算要求をしているところである。
- 木下教育長 養成と採用と資質の向上の3点を視野に入れて、協議会で協議したいと思う。
- 川畑委員 次回でなくても次々回でも結構である。
- 川崎委員 1－2ページ。小学校休職者のうち1名は組合専従とあるが、小学校をお休みされて組合の仕事のみをされているということか。
- 木下教育長 はい。
- 川崎委員 休職されている先生に対しての代行の先生は入っているのか。
- 木下教育長 入っている。
- 川崎委員 ある小学校でいろんな事情から出勤できなくなっている先生がいるのだが、お休みされている期間は学校から報告が上がってくるのか。
- 木下教育長 上がってくる。1ヶ月以上の病気休暇の診断書が出た場合には代替教員の措置をする。なるべく子どもたちが不利益を被らないような配置をしており、長期に渡る病気休暇や出産休暇、育児休暇には代替措置をしている。
- 川崎委員 1ヶ月に満たない10日や1週間お休みされている先生に対してはどうされているのか。
- 木下教育長 原則は学校の中で対応しているが、場合によっては市教育委員会事務局の指導主事が入ることもある。例えば中学校であれば英語の先生が5人いて、1人の先生がなんらかの形で1週間休むと、4人の先生で分担しながら

ら助け合っているというのが現状である。

(5) 報告第8号の専決第21号の承認（日程第3）

木下教育長より「報告第8号 教育長の委任事項並びに専決事項に関する規則第2条第2項の規定による専決処分報告について」の「専決第21号 伊丹市立図書館神津分館の指定管理者の指定の申出にかかる指定期間の変更について」を議題とする旨の発議の後、「伊丹市立図書館神津分館の指定管理者の指定の申出にかかる指定期間の変更について、緊急を要したので専決処分により処置したものです。」との説明がなされ、生涯学習部長より補足説明があり、全委員一致で「報告第8号」の「専決第21号」を承認。

(6) 報告第8号の専決第22号の承認（日程第4）

木下教育長より「報告第8号 教育長の委任事項並びに専決事項に関する規則第2条第2項の規定による専決処分報告について」の「専決第22号 平成27年度第3回教育関係費補正予算要求の申出について」を議題とする旨の発議の後、「平成27年度第3回教育関係費補正予算要求を市長に申し出ることについて、緊急を要したので専決処分により処置したものです。」との説明がなされ、管理部長より補足説明があり、全委員一致で「報告第8号」の「専決第22号」を承認。

(7) 議案第51号の審議（日程第5）

秘密会での審議の後、全委員一致で、「議案第51号 伊丹市立博物館協議会委員の委嘱について」を可決。

(8) 議案第52号の審議（日程第6）

秘密会での審議の後、全委員一致で、「議案第52号 伊丹市スポーツ推進委員の委嘱について」を可決。

(9) 議案第53号の審議（日程第7）

秘密会での審議の後、全委員一致で、「議案第53号 平成28年度伊丹市公立学校・幼稚園教職員人事異動方針の策定について」を可決。

(10) 閉会宣言

木下教育長（午前11時17分）

上記のとおり会議の要旨を記録し、ここに署名押印する。

伊丹市教育長 木下 誠

伊丹市教育委員会委員 江原 礼子